



## 展開

---

- [展開の概要](#) (1 ページ)
- [Cisco Webex Device コネクタ](#) (4 ページ)
- [ネットワーク要件](#) (4 ページ)
- [電話機のインストール](#) (5 ページ)
- [制御ハブに展開](#) (7 ページ)
- [Cisco Unified Communications Manager に展開](#) (9 ページ)
- [展開コントロールハブを使用した Unified CM コール](#) (10 ページ)
- [サービスの追加](#) (10 ページ)
- [ネットワークの設定](#) (11 ページ)
- [ネットワークステータス](#) (13 ページ)
- [AP モードでのデバイスログへのアクセス](#) (14 ページ)
- [有線拡張マイクの取り付け](#) (14 ページ)
- [展開のトラブルシューティング](#) (15 ページ)

## 展開の概要

Webex Room Phoneを簡単に導入して設定することができます。電話機をネットワークに接続して、デバイスの電源がオンになるまで待機し、プロンプトが表示されたら情報を入力します。アクティベーションプロセスが自動的に開始されない場合は、手動で情報を入力します。



- (注) 電話機を HDMI 表示画面に接続して、デバイスを最大限に活用するよう推奨します。HDMI 画面またはコンピュータに接続する場合に、同梱されている HDMI ケーブルのみを使用してください。他のケーブルやアダプタは使用しないでください。

Webex Room Phone は次のコール制御オプションをサポートします。

- **Cisco Unified Communications Manager (Unified CM) コール:** コール制御とデバイスの管理に Unified CM を使用します。電話機を Unified CM に追加し、機能とサービスをアクティブ化します。

- コントロールハブを使用した Unified CM コール: コール制御には Unified CM を使用し、デバイス管理には 制御ハブ を使用します。Unified CM に電話機を追加し、制御ハブで **ワークスペース** を作成して、アクティベーションコードを生成します。
- コントロールハブを使用した Webex コール— コントロールハブを使用して、デバイスを管理し、コール制御に対して Webex コールをプロビジョニングします。制御ハブで **ワークスペース** を作成して、アクティベーションコードを生成します。

制御ハブに一括展開するには、Cisco Webex Devices Connector を使用します。Cisco Unified Communications Manager への一括展開には、一括管理ツール (BAT) を使用してください。(Unified CM )

次の表に、各オプションの利用可能な機能を示します。

表 1: Webex Room Phone の機能

機能	統合 CM コール	コントロールハブを使用した Webex コール	コントロールハブを使用した Unified CM コール	説明
ケーブル共有:通話中またはミーティング中	はい	はい	はい	ユーザは、ラップトップ画面から、ミーティング中に HDMI ケーブルで接続されている電話機にコンテンツを共有できます。
ケーブル共有:通話またはミーティング中でない時	はい	はい	はい	ユーザがラップトップの画面から HDMI ケーブルを使用してコンテンツを共有できるようにします。
カレンダーと 1 つの押しボタン	いいえ	はい	はい	ユーザは、スケジュールされた Webex ミーティングを表示して、1 回のタップで参加することができます。
通話履歴と予測ダイヤル	はい	はい	はい	ユーザが簡単に通話を発信できるようにします。 通話履歴: 最近の 25 件のコールを一覧表示します。リストから選択します。 予測ダイヤル: 電話番号を入力したり、ディレクトリを検索したりすると、結果はクエリに一致するように変更されます。

機能	統合 CM コール	コントロールハブを使用した Webex コール	コントロールハブを使用した Unified CM コール	説明
強化された Cisco Webex Meetings エクスペリエンス	いいえ	はい	はい	<p>ユーザは、次の機能を備えた拡張 Cisco Webex Meetings エクスペリエンスに参加できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ミーティング通知: ミーティングが開始される前にユーザが通知を受信します。</li> <li>• ロビー: 参加者は仮想ロビーで待機してミーティングを開始します。</li> <li>• 参加者リスト: 出席中のユーザのリストです。</li> <li>• アクティブなスピーカー: 参加者が話すと、そのアイコンが点灯します。</li> </ul>
以下の Cisco Webex ビデオ統合 : Microsoft Teams	はい	はい	はい	<p>ユーザーが Microsoft Teams 会議をスケジュールして参加できるようにします。</p> <p>(注) 統合 CM コールのワンボタン機能はサポートされていません。</p>
デジタルサイネージ	いいえ	はい	はい	ユーザは、企業のアナウンスなどの HDMI 表示画面でカスタムコンテンツを表示できます。
ディレクトリ	いいえ	はい	はい	ユーザは会社のディレクトリから同僚を呼び出すことができます。
ゲスト共有	いいえ	はい	はい	ユーザは、Cisco Webex アカウントを使用せずにコンテンツを共有できます。
保留と復帰	はい	いいえ	はい	ユーザはアクティブ コールを保留にすることができ、いつでも再開できます。

機能	統合 CM コール	コントロールハブを使用した Webex コール	コントロールハブを使用した Unified CM コール	説明
プロキシミティ ペアリング	いいえ	はい	はい	ユーザは、電話機を Cisco Webex アプリに接続することができます。
Cisco Webex アプリを使用したワイヤレス共有	いいえ	はい	はい	HDMI ケーブルを使用せずに情報を共有することによって、ユーザが同僚と共同で作業できるようにします。

### 関連トピック

[制御ハブ に展開 \(7 ページ\)](#)

[Cisco Unified Communications Manager に展開 \(9 ページ\)](#)

[電話機のインストール](#)

[展開コントロールハブを使用した Unified CM コール \(10 ページ\)](#)

## Cisco Webex Device コネクタ

Cisco Webex Device コネクタは軽量のソフトウェアで、Control Hub が管理する組織でデバイス関連のタスクを自動化するのに使用できます。次の場合にツールを使用します。

- クラウドへの Webex デバイスの導入。
- Control Hub で管理されている組織内のオンプレミスの登録済みデバイスにクラウド機能を提供する。

このソフトウェアは、デバイスの要件と使用する機能に応じて、オンプレミスからクラウド、またはクラウドからオンプレミスへのリンクを提供します。Control Hub からソフトウェアを取得し、ネットワーク内の Windows または Mac デバイスまたは仮想マシンにインストールして、オンプレミスの環境やデバイスそのものにアクセスできます。

Cisco Webex Device コネクタは、一括展開の推奨方法です。

詳細については、[https://help.webex.com/en-us/383gbd/Cisco-Webex-Device-Connector#id\\_120649](https://help.webex.com/en-us/383gbd/Cisco-Webex-Device-Connector#id_120649)を参照してください。

## ネットワーク要件

Webex Room Phoneを導入する前に、ネットワークが最小ハードウェア基準と構成要件を満たしていることを確認します。

## Cisco Unified Communications Manager ネットワーク要件

Webex Room Phoneを導入する前に、電話機がCisco Unified Communications Manager (Unified CM) にアクセスできることを確認してください。ネットワークのセットアップと設定のチェックリストについては、特定のUnified CM リリースのマニュアルを参照してください。

Webex Room Phone Unified CM に登録するには、最低 2 Mbps の帯域幅が必要です。Quality of Service (QoS) を設定する場合は、この帯域幅の要件を考慮します。詳細については、『*Cisco Collaboration System 12.x Solution Reference Network Designs (SRND)*』またはそれ以降 ([https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice\\_ip\\_comm/cucm/srnd/collab12/collab12.html](https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/cucm/srnd/collab12/collab12.html)) を参照してください。

## Webex サービスネットワーク要件

Cisco Webex Room Phone を制御ハブに導入する前に、ご使用の環境がハードウェアの最小基準と構成を満たしていることを確認してください。ネットワークのセットアップと設定については、「*Webex Teams* サービスのネットワーク要件」 (<https://help.webex.com/en-us/WBX000028782/Network-Requirements-for-Webex-Teams-Services>) を参照してください。

## Cisco Webex ネットワークテスト

Cisco Webex Network Test ツールを使用して、ネットワーク接続をテストすることができます。ツールは、<https://mediatest.webex.com> にあります。次のネットワーク属性をテストします。

- TCP 接続
- TCP 遅延
- TCP ダウンロード速度
- TCP アップロード速度
- UDP 接続
- UDP 遅延
- UDP 損失率

## 電話機のインストール

Webex Room Phone をネットワークに接続すると、電話機の起動プロセスが開始されます。電話機の電源が入り、起動画面が表示されます。

パワーインジェクタを使用している場合、インジェクタインジケータライトがネットワークステータスを監視します。緑色ライトが点灯している場合は、必要な電力の供給が有効な IEEE 802.3 connection であることを意味します。黄色ライトが点滅している場合は、無効な電源装置

デバイスを意味します。緑色ライトが点滅している場合は、インジェクタが電力ロードを検出できないことを意味します。

詳細については、お使いの電話機に付属している *Webex Room Phone* はじめにを参照してください。

### 始める前に

ニーズに適した電源を選択します。

- **Power over Ethernet (PoE):** 一貫した AC 電源ソースを必要とする管理者向けですが、ケーブルは 1 本だけ必要です。RJ-45 ポートで PoE がサポートされていることを確認します。
- **Cisco Aironet パワーインジェクタまたは非 PoE を備えたイーサネット:** 効率的な電源を必要とし、別のケーブルのスペースを持っている管理者向け。

デバイスに付属しているスクリーン HDMI ケーブルを探します。ケーブルは色分けされているため、電話機のポートの色のタブを簡単に識別し、一致させることができます。26 フィート (8 メートル) のスクリーンケーブルには、最後に赤色のタブが付いています。9.8 フット (3 メートル) のコンピュータケーブルの最後には青のタブが付いています。



(注) スタンバイを使用する場合は、次の制限事項に注意してください。

- スタンバイにはコンシューマ 電子制御 (CEC) が必要なので、デバイスを HDMI-CEC をサポートする表示ポートに接続します。
- 一部の HDMI 表示画面は HDMI-CEC をサポートしますが、スタンバイ モードはサポートしません。
- 表示画面とデバイス間にネットワークハブを導入する必要があります。
- 表示画面でスタンバイ モードを有効にして、制御ハブの機能設定を構成する必要がある場合があります。

### 手順

**ステップ 1** 電話機をネットワークに接続します。

- PoE を使用する場合：
  1. LAN ポートにイーサネット ケーブルを差し込みます。
  2. 電話の後部側面の RJ-45 ポートにイーサネット ケーブルのもう一方の端を差し込みます。
- PoE を使用しない場合：
  1. Cisco Aironet パワーインジェクタの電源コードを電気コンセントに差し込みます。

2. 電源コードのもう一方の端をインジェクタに接続します。
3. イーサネットケーブルの一端をLANポートに、もう一方の端をインジェクタの**DATA IN**ポートに接続します。
4. 電話機の背面にあるRJ-45ポートを、インジェクタの**DATA & POWER OUT**ポートに接続します。

**ステップ2** 電話機の画面ポートに画面のHDMIケーブルを接続します。

**ステップ3** 表示画面のHDMIポートにHDMIケーブルを接続します。

**ステップ4** お使いの電話機のコンピュータポートにコンピュータHDMIケーブルを接続します。

**ステップ5** コンピュータHDMIケーブルをコンピュータのHDMIポートに接続します。

#### 関連トピック

[Cisco Unified Communications Manager に展開 \(9 ページ\)](#)  
[プロダクト固有の設定](#)

## 制御ハブに展開

コントロールハブを使用した Unified CM コールまたはCisco Webex Room Phone の制御ハブをコントロールハブを使用した Webex コールに導入します。

#### 始める前に

ファイアウォールを使用している場合は、電話機が制御ハブに到達可能であることを確認します。ファイアウォールが電話をブロックしている場合、デバイスはアクティブ化できず、電話機のホーム画面に赤い点の●が表示されます。この種の接続エラーは、ステータスメッセージログには表示されません。

#### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
<b>ステップ1</b>	(オプション) 電話機を Cisco Unified Communications Manager (Unified CM ) に追加します。機能およびサービスの設定	電話機の登録に Unified CM を設定し、機能とサービスを追加します。この手順は、コントロールハブを使用した Unified CM コールの導入の場合にのみ使用します。
<b>ステップ2</b>	ワークスペースを作成し、カレンダーを追加して、コールサービスを追加します。アクティベーションコードの生成	電話機の制御ハブワークスペースを設定し、ネットワークに接続した後に電話機を登録できるようにします。  次のように、導入モデルに一致するコールサービスオプションを選択します。

	コマンドまたはアクション	目的
		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 無料通話: コントロールハブを使用した Unified CM コールのこのオプションを選択します。</li> <li>• コントロールハブを使用した Webex コール: Webex Callingのこのオプションを選択します。</li> </ul> <p>カレンダーサービスを追加することもできます。これはオプションのステップですが、多くのユーザがこの機能を便利だと感じています。</p>
ステップ 3	電話をネットワークに接続し、電源を入れます。	電話機の電源をオンにすることができます。また、登録プロセスを開始することができます。
ステップ 4	(オプション)ネットワーク設定を構成します。	手動で展開する場合は、IPv4、DNS、VLAN、またはプロキシの設定をできます。
ステップ 5	[コールサービス] を選択します。	コールサービスは発信オプションです。 <b>Cisco Webex</b> をタップします。
ステップ 6	アクティベーションコードを入力します。	電話機がサーバに登録するための権限を持っていることを確認します。
ステップ 7	電話機のファームウェアアップグレードが開始するまで 30 秒待ちます。	電話機のファームウェアを最新リリースにアップグレードします。 <b>[延期 (Postpone)]</b> をタップしてアップグレードを後で行うようにします。
ステップ 8	ディスプレイをカスタマイズします。	電話機のタイムゾーンを設定できます。電話機がディスプレイ画面に接続されている場合は、画像を調整してクリアにします。
ステップ 9	[コールサービス] を選択します。	これは、コントロールハブを使用した Unified CM コールに展開する場合にのみ使用できます。 <b>[Cisco UCM]</b> をタップします。

#### 関連トピック

[電話機のインストール \(5 ページ\)](#)

[ワークスペース を作って、サービスを追加します。](#)

[電話機のインストール](#)



- ネットワークの設定 (11 ページ)
- サービスの追加 (10 ページ)
- デバイスのカスタマイズ
- 新しいアクティベーションコードの生成
- ネットワークステータス (13 ページ)

## Cisco Unified Communications Manager に展開

Unified CM でコール制御とプロセスを処理する場合は、電話機をCisco Unified Communications Manager (Unified CM ) に配置します。

### 始める前に

電話機を導入する前に、適切なデバイスパッケージと現在のファームウェアリリースをインストールします。デバイスパッケージをインストールしない場合、デバイスは登録できません。

最新のCisco Unified Communications Managerデバイスパッケージ ([https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice\\_ip\\_comm/cucm/compat/matrix/CMDP\\_BK\\_CCBDA741\\_00\\_cucm-device-package-compatibility-matrix/.html](https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/cucm/compat/matrix/CMDP_BK_CCBDA741_00_cucm-device-package-compatibility-matrix/.html)) については、*Cisco Unified Communications Manager* デバイスパッケージ互換性マトリクスを参照してください。

ファームウェアリリースの詳細については、次のサイトにある「*Cisco Webex Room Phone* リリースノート」を参照してください。<https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/webex-room-phone/products-release-notes-list.html>

Cisco Unified Communications Managerの電話機の設定の詳細については、Cisco Unified Communications Manager (<https://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unified-communications-manager-callmanager/products-maintenance-guides-list.html>) のバージョンに関する『*Administration Guide for Cisco Unified Communications Manager*』の「電話機の管理」の章を参照してください。

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	Unified CM で電話機を追加して設定します。	電話機の登録に Unified CM を設定し、機能とサービスを追加します。
ステップ 2	電話機を電源とネットワークに接続します。	電話機の電源をオンにし、導入用の電話機の設定手順を開始します。
ステップ 3	イーサネットの設定を構成します。	この手順は任意です。一部の管理者は手動で導入し、必要に応じて IPv4、DNS、VLAN、またはプロキシの設定を行うことができます。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 4	[コールサービス] を選択します。	Unified CM 導入用のコールサービスは、 <b>UCM Calling</b> です。この手順では、電話機を Unified CM 用に構成します。
ステップ 5	サーバアドレスを設定します。	電話機が Unified CM に登録できるようにします。Unified CM TFTP IP アドレスを入力します。

#### 関連トピック

[Cisco Unified Communications Manager に手動で電話機を追加](#)

[電話機のインストール \(5 ページ\)](#)

[電話機のインストール](#)

[ネットワークの設定 \(11 ページ\)](#)

[サービスの追加 \(10 ページ\)](#)

[ネットワークステータス \(13 ページ\)](#)

## 展開コントロールハブを使用した Unified CM コール

コントロールハブを使用した Unified CM コールは、オンプレミス導入とシスコクラウドベースの機能を組み合わせたものになります。DN やデバイスプールなどの通話制御と通話管理には、Cisco Unified Communications Manager (Unified Communications Manager) を使用します。ただし、デジタルサイネージやカレンダーの統合などのクラウドベースの機能を有効にするには制御ハブを使用します。

電話機をオンボードするには、制御ハブと Unified Communications Manager の両方に展開します。最後の手順として、電話機に別のサービスを追加します。

#### 関連トピック

[展開の概要 \(1 ページ\)](#)



[制御ハブに展開 \(7 ページ\)](#)

[Cisco Unified Communications Manager に展開 \(9 ページ\)](#)

[サービスの追加 \(10 ページ\)](#)

## サービスの追加

コントロールハブを使用した Unified CM コールに導入する場合は、2 番目のサービスを追加します。誤ったサービスを追加した場合は、サービスを変更できます。

コールサービスの横にある赤い点の  は、エラーを示します。緑色の点が付いた  は、機能コールサービスを示します。

### 始める前に

配置に応じて、次のいずれかを実行する必要がある場合があります。

- アクティベーションコードが制御ハブに登録されます。
- TFTP サーバの IP アドレス: Cisco Unified Communications Manager への手動展開用。

### 手順

**ステップ 1** 電話画面の左上隅をタップします。

**ステップ 2** [設定]>[デバイスアクティベーション]をタップします。

**ステップ 3** コールサービスをタップします。

- Cisco Webex: コントロールハブを使用した Webex コールのこのオプションを選択します。
- Cisco UCM: Cisco Unified Communications Manager(Unified CM )の発信用またはコントロールハブを使用した Unified CM コールのこのオプションを選択します。

### 関連トピック

[制御ハブに展開 \(7 ページ\)](#)

[Cisco Unified Communications Manager に展開 \(9 ページ\)](#)

## ネットワークの設定

電話機のネットワーク設定は、デバイスを導入するときにスタートアップメニューから設定できます。必要に応じて、導入後に IPv4、DNS、VLAN、またはプロキシ設定を構成することができます。たとえば、静的 IP アドレスまたはプロキシホストを設定することができます。

次の表では、ネットワーク設定メニューのフィールドについて説明します。

表 2:[ネットワークのセットアップ (Network Setup) ]メニュー

エントリ	タイプ	説明
DHCP の使用	オフ [オン (On) ] (デフォルト)	DHCP を有効にしたり無効にできます。 DHCP を <b>オン</b> に設定すると、DHCP サーバによって IP アドレスが割り当てられます。 DHCP を <b>オフ</b> に設定した場合は、IP アドレスを割り当てます。

エントリ	タイプ	説明
IPv4 アドレス	文字列	電話機のインターネットプロトコル (IP) アドレス。 IP アドレスをこのオプションで割り当てる場合は、サブネットマスク、ドメインネームシステム (DNS)、デフォルトルータも割り当てる必要があります。この表の [サブネット マスク (Subnet Mask)] オプションと [デフォルトルータ (Default Router)] オプションを参照してください。
サブネット マスク	文字列	ネットワークにサブネットがあり、ビットマスクを使用してルーティングプレフィックスを識別している場合の、サブネットマスクの IP アドレス。
ゲートウェイ	文字列	他のネットワークに対する転送ホストとして動作するルータの IP アドレス。
DNS ドメイン名	文字列	電話機が所属するドメインネームシステム (DNS) の名前。
DNS アドレス1	文字列	DNS サーバ 1 の IP アドレス。
DNS アドレス2	文字列	DNS サーバ 2 の IP アドレス。
DNS アドレス3	文字列	DNS サーバ 3 の IP アドレス。
VLAN	自動 (デフォルト) 手動 オフ	Cisco Catalyst スイッチに設定された仮想ローカルエリアネットワーク (VLAN)。
プロキシ	オフ (デフォルト)	プロキシサーバの IP アドレス。 デバイス設定の前にプロキシサーバを設定します。
プロキシポート	文字列	プロキシホスト上で割り当てられているポート。
ユーザ名	文字列	プロキシホスト上での認証に必要な管理者のユーザ名。
パスワード	文字列	プロキシホスト上の認証に必要な管理者のパスワード。
IEEE 802.1Xを使用	切り替え	<b>オン</b> にすると、電話機は 802.1X 認証を使用して、ネットワークへのアクセス権を要求および取得できます。

## 手順

ステップ 1 電話画面の左上隅をタップします。 .

- ステップ2** メニューオプションのリストから**設定**をタップします。
- ステップ3** 下にスクロールして**ネットワーク接続**をタップします。
- ステップ4** **オープンイーサネット設定**をタップして、ネットワーク設定を確認または変更します。
- ステップ5** 設定を構成した後に、電話機をリブートします。

#### 関連トピック

[制御ハブに展開](#) (7 ページ)

[Cisco Unified Communications Managerに展開](#) (9 ページ)

## ネットワークステータス

ネットワークステータスは、電話機の[ネットワーク接続]画面の上部に表示され、デバイスがネットワークに接続できるかどうかを示します。次の表を使用して、ネットワーク接続のトラブルシューティングを行います。

表 3: ネットワークステータス

ステータス	意味	備考
ネットワークに接続されました。	電話機には IP アドレスがあります。	電話機をネットワークに接続します。
ネットワークが切断されました。	電話機は IP アドレスを持っていません。	ネットワークまたは接続の問題は、ステータスメッセージログには表示されません。
ネットワークに再接続しています。	電話機は、IP アドレスを取得します。	—
DNSが設定されていません。	電話機にドメインネームシステム (DNS) のアドレスがありません。利用可能な場合、電話機は最初の利用可能な DNS とドメイン名を使用します。	DNS エラーが発生している場合は、赤い点のホーム画面に表示されます。 DNS エラーは、ステータスメッセージログには表示されません。
802.1x 認証に失敗しました。	電話機は 802.1 x 認証に失敗しました。	ステータスメッセージログには、802.1 x が有効または無効と表示されます。
重複した IPv4 アドレス。	設定された IPv4 アドレスが一意でないか、DHCP サーバからの IPv4 アドレスが一意ではありません。	—

#### 関連トピック

[制御ハブに展開](#) (7 ページ)

[Cisco Unified Communications Managerに展開](#) (9 ページ)

[ネットワークの設定](#) (11 ページ)

## AP モードでのデバイスログへのアクセス

デバイスが IP アドレスを失った場合、またはネットワークへの接続に失敗した場合は、ホスト型アクセスポイント (AP) モードになります。このモードでは、デバイスの web ページからデバイスログをダウンロードすることができます。ログを使用して、ネットワークの問題のトラブルシューティングを行います。

### 手順

---

- ステップ 1** 電話画面の左上隅をタップします。
- ステップ 2** メニューオプションのリストから**設定**をタップします。
- ステップ 3** **問題と診断**に移動します。URL とログイン情報を確認します。
- ステップ 4** Web ブラウザを開き、URL とログイン情報を入力します。

### 関連トピック

[制御ハブに展開](#) (7 ページ)

[Cisco Unified Communications Managerに展開](#) (9 ページ)

[ネットワークステータス](#) (13 ページ)

## 有線拡張マイクの取り付け

電話は、2つの有線拡張マイクを備えたオプションキットをサポートしています。マイクは電話機から最大 2.13 m (7 フィート) まで延長できます。最適な効果を得るために、携帯電話から 3 フィート (0.91 メートル) から 7 フィート (2.1 メートル) の間にマイクを置きます。

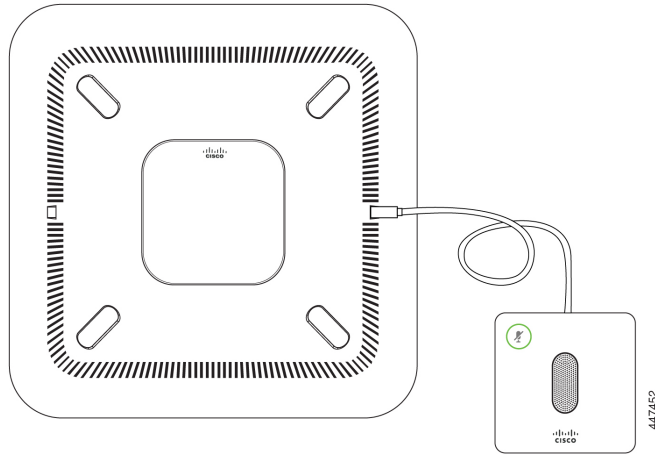
### 手順

---

- ステップ 1** マイク ケーブルの端を電話の側面のポートに差し込みます。
- ステップ 2** マイク ケーブルを目的の設置場所まで伸ばします。

次の図は、有線拡張マイクの取り付けを示しています。

図 1: 有線拡張マイクの取り付け



## 展開のトラブルシューティング

Webex Room Phoneを簡単に導入して設定することができます。ただし、デバイスのアクティベーションに問題がある場合は、次の表の情報を参考にしてください。

表 4: 発生する可能性のある導入問題

シナリオ	理由	ソリューション	備考
赤い点の●が、電話機のホーム画面の左上隅に表示されます。	赤い点は、コールサービスに問題があることを示します。	赤い点をタップして、コールサービスを設定します。	—
赤い点の●が、電話機のホーム画面の左上隅に表示されます。	コントロールハブを使用した Webex コールまたはコントロールハブを使用した Unified CM コールに導入した場合は、ファイアウォールが制御ハブへの接続をブロックできます。	デバイスがルータのオープンポートに接続されていることを確認します。	この種の接続エラーは、ステータスメッセージログには表示されません。
赤い点の●が、ホーム画面の左上隅に表示されます。	電話機には、ドメインネームシステム (DNS) アドレスが必要です。	ネットワークの設定で DNS アドレスを入力します。	この種の接続エラーは、ステータスメッセージログには表示されません。

シナリオ	理由	ソリューション	備考
<p>ステータスメッセージには、次のステータスメッセージが表示されます。</p> <pre>UTC dhclient-script: W: eth0 =&gt; received reason: STOP</pre>	このデバイスには、DHCP からの IP アドレスが必要です。	DHCP サーバの設定を確認する、またはスタティック IP を設定します。	—

#### 関連トピック

[サービスの追加](#) (10 ページ)

[ネットワークの設定](#) (11 ページ)

[制御ハブに展開](#) (7 ページ)

[Cisco Unified Communications Managerに展開](#) (9 ページ)

[AP モードでのデバイスログへのアクセス](#) (14 ページ)